

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		導訓練室、遊戯室に加え、登降園時の身支度部屋もあり、個別訓練室も完備。園庭がないため、近隣の公園で遊びを楽しんでいる。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		基準配置の職員を配置しているが今以上に、利用児1人1人としっかりと向き合うためには、もっと多くの職員配置が必要。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	2	事業所内は段差等はなく、バリアフリー化されている。構造化はまだ不十分であるため視覚支援も取り入れながら今後改善を図る。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		タイムリーに情報共有ができるように電子記録を用いている。また、職員の勤務時間内に、より良い支援ができるように話し合いの場を設定している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			年度末には事業所評価を実施し、いただいたご意見を参考に業務改善を行っている。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページに公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	2	現在、外部評価は行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			毎月、第4水曜午後、第3土曜午後に職員研修の時間とし、全体研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			児発管だけで作成するのではなく、他のスタッフの意見も取り入れた上で多角的なものになるよう心掛けている。計画的に計画書の内容を職員全員で定期的に見直し、支援に反映させることを再度徹底していく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3	3	お子様の疾患・特性によって発達が様々であり、明確化されたツールの活用が少ない。今後、簡素的に標準化されたシステム作りが必要。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			児童発達支援ガイドラインについて一度読み合わせをする等して周知共有を徹底する
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	2		計画書の内容を職員全員で定期的に見直し、支援に反映させることを再度徹底していく

	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4		保育士が中心となり、プログラムを立案している。今後は機能訓練士も立案に参加しながら総合的なプログラムを計画していく。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			お子様の発達段階を踏まえ、色々なことを体験して頂けるようなプログラムを策定するように心掛けている
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			1日の中で個別活動と集団活動のどちらもできるようにしている。また、保護者のニーズに沿って登園方法を検討出来るようにしている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3	2	日々の担当職員の設定や活動内容について話をする時間を設けてはいるが不十分。引き続き、時間の確保を行う。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	2	社員同士は積極的にその日の振り返りを行っているが、パート職員は共有するのが難しい。積極的に電子記録を用いて、全職員にタイムリーに情報共有出来る環境を整えていく
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3	1	登園日には活動報告・個別訓練内容を連絡帳にて記録している。今後は職員に周知し、支援の改善に繋げていく。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		定期的にモニタリングを行っているが、児発管だけではなく職員全員内容を共有し、見直しの必要性や今後の計画内容について話し合っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		基本的に対応する職員は決まっているが、状況に応じて適した職員が対応するようにしている
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	1	他機関とも連携を取り、積極的に事業所の情報について共有するように心がけている
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当児なし
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当児なし
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3		保育園や幼稚園を利用している場合には、実際に園に訪問し、担任の先生とお話したり、園の様子を見る機会を設けている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			特別支援学校の見学や学校説明会に同伴させて頂く機会があり、相互理解を図ることが出来た。就学時には情報共有シートを用いた情報共有も実施。今後も継続して、徳島県下の小学校や特別支援学校の見学や情報共有を行っていく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	他事業所の見学等も少しずつ行っているものの、積極的な連携は図れていないため連携出来るシステム作りを行う

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3		系列の保育園と合同で年数回の行事や月一回の交流日を持っているが、地域の保育園等とは交流の機会がないため、交流できる機会を検討する。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか			6	現在参加はできていない
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時に保護者さんとお話する時間を捻出し、活動の様子等を伝達している。また、コロナウイルス感染症予防をした上で、定期的な保護者面談を実施し、情報共有や今後の支援内容について話す場を設けるようにしている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	2	今年度は新型コロナウイルスを懸念しペアレントトレーニングを実施する機会が少なかった。今後は感染予防の徹底、オンラインを用いる等の工夫を施し、ペアレントトレーニングにも力を入れていきたい。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			読み飛ばすことなく、保護者の方と一緒に読み合わせながら説明している
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			読み飛ばすことなく、保護者の方と一緒に読み合わせながら説明することを心掛けている
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			送迎時等で時間を設け、相談を受けたり支援方法の助言を行うよう心掛けている。また、コロナウイルス感染症予防をした上で、定期的な保護者面談を実施し、情報共有や今後の支援内容について話す場を設けるようにしている
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		ゆずりは保育園・ゆずりはplusと合同の保護者会が発足し、定期的に保護者会を開催している。今後は保護者向けの研修等の機会も作っていく予定
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		すぐに職員間で周知共有し、課題の解決を図っている
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	1	行事予定や毎月のプログラム予定をお便りで配信している。その他のお知らせはその都度、電子連絡帳を通じて配信している。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1		SNSや連絡帳アプリにおける写真の取扱いについて十分注意している。書類等は鍵付き書庫にて保管している
	㉛	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			絵カードを用いたり、サインを使うことで意思疎通を図るようにしている。保護者面談やルグミーにて保護者に支援方法を伝達することも心掛けている。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		夏に地域向けのイベントを実施し、地域の方との交流を楽しむことが出来た。定期的な開催を行っていく。
非常時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1		マニュアル類を完備し、実際に不審者対応等の訓練を実施している。感染症に関しては電子連絡帳でその都度注意喚起を促している

同等 の 対 応	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			毎月1回火災、洪水、地震を想定した避難訓練を行っている
	④②	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			アセスメント時に確認している。また、定期的に保護者と連絡を取り、状況把握に努めている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6			現状は食物アレルギーの該当児はいないが、アセスメントシートに詳しく記載して頂き確認することになっている
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	4	1	その都度職員間での共有を行い、対応策を話し合い実践しているが、それに加え、今後は電子記録内に記録を行うようにする
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止マニュアルを作成している。虐待防止委員会を設立し、虐待防止研修も行っている。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				現在、対象児はいないが、必要なときに備え、同意書は作成している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				
	②	職員の配置数は適切であるか				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか				
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか				
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか				
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか				

	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか				
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか				
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか				
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか				
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか				
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか					

④②	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか				
④③	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか				
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				
④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				
④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。